令和４年度　学校関係者評価委員会報告書

１．日　時　　令和４年８月９日（火）　１５：４５～１６：４５

２．場　所　　中央情報経理専門学校　本部館２Ｆ

３．出席者

企業等委員：佐藤　昌義　（佐藤昌義税理士事務所）
企業等委員：福本　和章　（株式会社CRI中央総研）
企業等委員：鈴木　典浩　（前橋赤十字病院）
学校委員　：今井　俊一　（中央情報経理専門学校　学校長）
学校委員　：塚本　篤　　（中央情報経理専門学校　副校長）
学校委員　：柳田　祐大　（中央情報経理専門学校　教務部長）

４．議　事

・学校長挨拶
・前回の課題とそれに対する改善点
・令和４年度自己点検・評価表結果について
・質疑応答

５．今年度の課題と委員の方からの質疑

「１　教育理念・目標」

課題：最新の業界動向を踏まえてカリキュラムに反映する動きが不足していた。
質問：具体的に何が不足していたのか。
回答：外部の講師等を学校側に招く機会が少なかったので増やしていきたい。

「２　学校運営」

課題：全体研修は実施しているが、専門分野に関する研修が足りていない。
質問：各分野の専門的な研修と全体研修は分けて実施すべきではないのか。
回答：現状様々な研修は実施しているが、今後は専門分野と関係のある研修に積極的に参加していきたい。

「３　教育活動」

課題：高校と連携したキャリア教育などは、まだ取り組み実績が少ない
→　高校の授業に関するフォローや講座などを充実させていく。

「４　学習成果・教育効果」

課題：卒業生の動向について組織的に把握するシステムがない。

質問：教務では退職等の関係があるので限界があるのでは。

回答:可能な範囲で就職指導センターと連携をして全体で把握できるようにしたい。

「５　学生支援」

課題：卒業生に対して卒業後に講習や研修は実施出来ていない。

質問:就職活動をする中で、OB・OG 訪問を行っている学生はどれくらいいるか。

回答：各担任で対応できる範囲で行っている。

質問:学生個人で行動を行うのは難しいので、グループディスカッションや座談会等の実施を進める必要があるのでは。

回答：各行事で学年を超えた運営を行っているが、全体でもっと強化していく。

「６　教育環境」

課題：インターンシップや実習の事前指導が不十分なところも見受けられた。

→　今後は事前指導を徹底し、受け入れ先に迷惑をかけないよう準備をする。

「７　学生の受け入れ募集」

課題：３つのポリシーは学科・専攻ごとに策定はしているが、幅広い公表が出来ていない。

→　今後はホームページやパンフレットに載せることも検討したい。

「８　教育の内部保証システム」

課題：発覚した問題について対応が遅れることがあった。

→　問題が判明次第、迅速に取り組むようにしている。

「９　財務」

課題：特になし

「１０　社会貢献・地域貢献」

課題：社会貢献や地域貢献に関する活動についてはまだ不十分である。

→　ＳＤＧｓに関する取り組みなどを学生と職員が連携して実施する。

「１１　国際交流」

課題：特になし

６．総評

上記１１項目に対し外部の学校関係者評価委員に報告を行ったところ、中央情報経理専門学校の教育活動、学校運営は概ね高い水準で維持されていると評価していただいた。しかし、改善すべき点も散見された。特に職員の研修等については、全体で行うものとは別に、学科に関連した内容を継続的に行い、学生に還元していく動きがもっと必要である。また、卒業生の活躍や動向についても組織的に把握し、連携していけると良いのではないかとの意見をいただいた。

以上